



学会ホームページ <http://jasce.jp>

## 033号(2016年7月26日)

### 目次

第13回全国大会情報  
学会役員選挙速報  
『協同と教育』への投稿募集中  
学会ワークショップ 今後の予定  
学会ワークショップ 開催報告  
会員からの活動報告  
各地の研究会・勉強会  
出版情報

### 第13回全国大会情報

今年のJASCE 全国大会は、「アクティブラーニングの核としての協同教育」をテーマに、三重大学(三重県津市)で11月4日から3日間にわたり開催されます。津市にあまりなじみがない方も多いかもしれませんが、名古屋から最速で45分、中部国際空港からも高速船で45分、大阪からは最速で80分という交通便利なところにございます。ぜひとも足をお運びください。発表・ラウンドテーブル・ワークショップの企画申込は7月末に締め切りとなっておりますので、ご予約の方は期限内にお申し込みいただけますようお願いいたします(既にご応募いただいた皆様には心よりお礼申し上げます)。発表・ラウンドテーブル・ワークショップのお申し込みをいただいた皆様には、締め切り後まもなく「書式テンプレート」についてお伝えいたしますので、どうかよろしく願いいたします。

#### 1. 大会概要

- ◇プレ大会 11月4日(金曜日・午後)  
三重大学教育学部附属中学校  
公開授業・実践検討会
- ◇本大会

11月5日(土曜日)  
大会1日目・情報交換会

11月6日(日曜日)  
大会2日目・基調講演  
三重大学を会場に、基調講演、小講演、研究発表・実践発表、ラウンドテーブル、ワークショップなどが開催されます。使用教室は、工学部棟の予定です。

#### ◇情報交換会

11月5日の夕刻、学内で開催します。

#### 2. 大会発表の受付

(1)発表等募集期間  
口頭発表(研究発表と実践報告)、ラウンドテーブル、ワークショップ

締切日 7月30日(土)

(2)発表等要旨原稿について  
原稿 所定のテンプレートを使用して作成。

締切日 9月2日(金)

#### 3. 事前参加申込と参加費入金

受付開始日 8月1日(土)

受付締切日 10月7日(金)

(注)締切日に間に合わない場合は、大会当日、大会受付で参加を受け付けますが、大会受付の混雑を避けるために、できるだけ事前登録をお願いします。

#### 4. 原稿送付先・問い合わせ先

taikail3@jasce.jp

(大会実行委員長  
三重大学教育学部 中西良文)

#### 学会役員選挙速報

6月末で投票を締め切った役員選挙の結果が判明しましたのでお知らせします。7月9日に伏野選挙管理委員長の下に、舟生事務局次長と開票

立ち合い人として山崎めぐみ会員が集い、開票作業を行いました。開票の結果(全108票中、有効103票)、得票上位8名の方が理事に選出されました。

石田裕久、久保田秀明、甲原定房、杉江修治、関田一彦、高旗浩志、水野正朗、安永 悟(50音順)

今後、理事の互選により会長を選出し、新会長が指名する理事を加えて、9月には新体制が発足します。

#### 『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿は随時受け付けておりますが、投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常、数ヶ月を要します。学会機関誌『協同と教育』への積極的な投稿をお待ちしております。

#### 学会ワークショップ 今後の予定

##### ●ベーシック

- 7月30日(土)～31日(日)【主催】  
会場:創価大学(八王子市)  
教育学部棟4階 受付B405教室  
講師:水野正朗
- 8月27日(土)～28日(日)【公認】  
会場:南山大学(名古屋市)  
人間関係研究センター D棟  
講師:長濱文与・石田裕久
- 9月17日(土)～18日(日)【主催】  
会場:じばさん三重(四日市市)  
5階研修室5  
講師:水野正朗
- 平成29年1月5日(木)～6日(金)  
会場:北海道立道民活動センター  
カデル2.7 5F540会議室(札幌市)  
講師:水野正朗

# JASCE

## 学会ワークショップ<ベーシック>開催報告

2016年5月28日(土)～29日(日)  
場所:中京大学 名古屋キャンパス  
0号館0608教室(名古屋市)  
講師:水谷茂・杉江修治

今回のワークショップには、大学・高校関係の方を中心に14名の参加がありました。中には、教育関係に携わっていないが協同教育に興味があるので参加したという人もいました。導入のアイスブレイク「ギョウザじゃんけん」で一気に盛り上がり、2日間を通して、和やかな雰囲気の中で協同学習の理論や技法を協同して学びました。今

話題のアクティブラーニングについても話し合いを通してお互いの理解を深めました。「初対面の人が集まって2日間でこれだけ学びを深め合うことができたというのは、協同学習の一つの実証であると感じました。理論的なことからについて、話を聞くだけでなく、実際に自分が体験してみることで見えてきたものも多くあったので、その点もとても良かったです。」「一方的な教授法(自分が使っていた)から、主体的・相互的な学びの場へと教室を変えると、大きな発想の転換をすることができ、具体的な方策(ヒント)も頂けたの

でたいへんためになった。すぐには上手くないと思うが、続けていきたいと考えており、また、他の教授者にも伝えていきたい。」など参加した全員がそれぞれに充実した思いをもって、このワークショップを終えることができたと思います。(水谷)



## 会員からの活動報告

### ◇台湾との交流の第一歩

国立台北教育大学における

日本の協同学習について講演報告

伏野久美子

6月4日からの2日間、台湾の台北市にある国立台北教育大学から招待を受けて、日本の中学校における協同学習ということについて講演(英語で講演、中国語通訳付き)を行いました。台湾では過去5年間、政府のリーダーシップのもと国家プロジェクトとして、台湾全土の中学校に協同学習を導入するということが行われており、台北(北部台湾)地域では国立台北教育大学が中心となってプロジェクトを行い、その総仕上げの大会が

国立台北教育大学で行われました。台湾ではおもにジョンソン、スラーヴィン、ケーガン等アメリカの協同学習が導入されているようです。しかし、隣国日本の中学校での協同学習の実践の様子を学びたいということで、私がJASCEの立場に基づき、3時間の英語での講演(中国語通訳付き)を行いました。JASCE会員の中学校の先生にご協力をいただき、その授業を見学し、写真に撮り、また、杉江修治先生から事前にお話を伺ったり資料提供をしていただいたりして、台湾の先生たちに日本の協同学習を紹介しました。JASCEのこと、日本での協同学習の歴史、協同学習の考え方なども詳しくお話したうえで、実際の教

室風景をビデオや写真をお見せしながら説明いたしました。ともに心をついにし、互いを大切に、みんなが学び合い高め合うために協力をしていくという、JASCEが大切にしている協同学習の考えを理解していただけたと思います。台湾ではまだ協同学習の歴史が浅く、日本からもいろいろなことを学びたいという熱意をひしひしと感じました。これを機会に日本と台湾の協同学習を通じた交流が深まればよいなと思った講演会でした。国立台北教育大学の教授に今秋の三重大学での大会のお話をしたところ、とても興味を示され、もしかしたら何人かの方が見学にいらっしゃるかもしれません。実現したらうれしいですね。

# JASCE

## 各地の研究会・勉強会

(北海道地域)

北海道アクティブ・ラーニング  
(協同と創造の授業づくり)研究会  
◇夏季研修会の案内

今年の1月に北海道でアクティブ・ラーニングの中核である協同学習について学ぶ研究会が発足しました。会長は鹿内信善先生(北海道教育大学名誉教授・福岡女学院大学教授)。1月11日(土)に杉江修治先生をお迎えして盛況のうちに第1回研修会を終えました。

第2回研修会を8月9日(火)に開催します。講師は安永悟先生(久留米大学)、鹿内信善先生(福岡女学院大学)です。北海道アクティブ・ラーニング(協同と創造の授業づくり)研究会ホームページよりお申し込みください。  
(<http://www.al.mnw.jp/>)

お問い合わせは事務局 酪農学園大学化学研究室 大和田まで(owada@rakuno.ac.jp, 電話番号 011-388-4777)

(東京・関東地域)

協同教育カフェ in 八王子

◇6月4日(土)、今年4回目の開催になる協同学習カフェが創価大学で開催されました。今回は「オープンカフェ」と銘打っての開催に、初めて参加の方も多く、新たな協同の輪が広がっています。企画の中心者、田中光夫さんがファシリテーショングラフィックを試みってくれました。いつもながら、あっという間の3時間で、多くの学びとたくさん笑いがありました。次回は未定です



が、決まり次第、ニューズレターなどでお知らせします。協同学習に興味のある方は是非ご参加ください。

連絡先: 関田一彦

(sekita@soka.ac.jp)

(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇次回の開催予定

8月例会を8月4日(木)18時30分から名古屋大学教育学部で開催します。テーマは、Leading Teaching for Active Learning: Lessons from Japanese Manabiai。国際授業研究学会(WALS2016、イギリス、エクセター大学、9月上旬)のプログラムの一部として開催される国際シンポジウムの内容検討を行います。提案者は副島孝(愛知文教大学)、鈴木稔子(聖霊中高等学校)、水野正朗(名古屋市立桜台高等学校)ほか。議論の柱は以下の6つです。①「学び合い」の基本構造、②愛知県K市「学び合い」10年間の取り組み、③K市の授業風景、④教師たちは学び合い(協同的な学び)をどう実践しているか-アンケート調査による分析、⑤対話による知識の共同構築過程における形成的評価の視点-AL改善のための授業評価のあり方、⑥学習指導要領改定の動きから見た「学び合い」の意義と課題。

参加申し込み、ご連絡は事務局 水野正朗まで。

(mizunokita@yahoo.co.jp)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇第11回研究会の報告

第11回研究会を5月27日(金)19

時からグランフロント大阪で開催しました。2016年度の最初の研究会に初参加の方もあり、仲間が増え活発な意見交換ができました。特に今回は約1時間ずつグループメンバーを換え、参加者が日頃の教育実践について資料を提示し合って情報交換を行いました。全員が主役のとても有益な時間となりました。その中から次回の研究会で授業実践の報告をして下さる方も決定しました。7月の研究会が楽しみです。7月22日に開催した第12回研究会の詳しい報告は9月号(34号)に掲載します。

◇今後の開催予定

場所: グランフロント大阪 アクティブスタジオ

時間: 19時~21時

日程: 9月30日、11月25日、

2017年1月27日、3月24日

参加申し込み先 緒方巧(梅花女子大学 t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇7月研究会の報告

本年度の第1回協同学習研究会(7月16日)では、岡山県内はもとより、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、広島県、東京都からもお越し頂き、総計44名のご参加を頂きました。今回ご発表頂いた稲岡夏来先生は、新卒新採・現在2年目で、非常に積極的な取組を重ねておられます。兼好法師『徒然草』の「九月二十日のころ」の授業をご発表頂きました。小グループによる協議と全体協議を経て、最後に稲岡先生がおっしゃった言葉が忘れられません。「いままでは授業をうまく進めるための技法を身につけることばかり考えていたけれど、大切なのは生徒

# JASCE

を「学習する主体」に育むための考え方、つまり「幹」の部分の太くすることが必要だと実感するようになりました。若い先生方の意欲的な取組をしっかりと支えていきたいと思えます。

## ◇今後の開催予定

平成28年度の開催日程及び内容は次の通りです(いずれも土曜日の14時～17時30分)。

第1回:7月16日、稲岡夏来先生(岡山県立岡山一宮高等学校・古文)のご発表(終了)

第2回:9月3日、絹田隼基先生(津山市立高田小学校・国語)のご発表

第3回:12月3日、福田聡先生(岡山市立福浜中学校)による同校の授

## 業改善の取組

第4回:2017年3月4日、瀬田幸一郎先生(岡山県立倉敷中央高等学校・理科)のご発表

会場:岡山大学教師教育開発センター東山ランチ(会場の都合上、定員を設定しています)。参加希望の方は事前に高旗までメールでご照会ください。開催日の1ヶ月前を目処にご案内を差し上げます。詳細は学会HPの「各地の勉強会」をご覧ください。(https://jasce.jp/1082schedule.php)

連絡先:高旗浩志(岡山大学教師教育開発センター)

E-Mail:takahata@okayama-u.ac.jp

## (福岡・九州方面)

### 授業づくり研究会

#### ◇協同教育フェスタ

7月23日(土)午前10時～午後5時、久留米大学御井キャンパスで開催しました。詳しい報告は9月号(34号)に掲載します。

#### ◇今後の開催予定

今後の開催予定は、9月24日(土)、12月10日(土)午後1時～午後5時。会場は久留米大学御井キャンパスです。各イベントの参加申込みは安永悟研究室のHPからお願いします。

(http://yasunaga.me/wiki.cgi)

連絡先:安永悟

(yasunaga\_satoru@kurume-u.ac.jp)

## 出版情報

### ●アクティブラーニングを活かした生徒指導—協同学習の手法を取り入れた生徒指導のデザイン

問題行動の未然防止と児童生徒の自己解決力を育む、アクティブラーニングの視点と手法を活かした生徒指導の実践を紹介しています。関田一



彦、渡辺正雄編著。本書で実践報告をしている教員たちは、アクティブラーニング・ブームが起こるずっと前から、生徒指導・教科指導に協同学習を活かしてきた人ばかりです。だから、とても説得力があります。学事出版。

### ●新しい教職概論

#### —教師と子どもの社会

教職「教職の意義等に関する科目」のテキスト。教師をめぐる制度と環境、教師に求められる知識や技能、心構えをわかりやすく解説しています。南

本長穂編著。「第2章 授業をつくる教師—教師の仕事」(担当:高旗浩志)では、学習する集団づくりと授業観の転換、「学び続ける教員」と校内研修の充実など、教師が授業をつくっていくための重要な視点が述べられています。ミネルヴァ書房。



(学会ワークショップ 今後の予定)

### ●アドバンス

7月30日(土)～31日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)

教育学部棟4階 受付B405教室

講師:伏野久美子

(講師が変更になりました)

11月12日(土)～13日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)

人間関係研究センター D棟

講師:関田一彦・石田裕久

### ●一日研修

11月27日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

名古屋キャンパス5号館0522教室

講師:水谷茂

12月11日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

名古屋キャンパス0号館 0604教室

講師:有本高尉・水谷茂

※定員になり次第、受付を終了します。お申込み方法、ならびにワークショップの詳細は下記URLをご覧ください。

(https://jasce.jp/1031workshop.php)